大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢
廣告（普通一行壹圓五拾錢）
料金（特別一行貳圓五拾錢）

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用③三二二五）（營業局專用③三一〇〇）

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

第六回全國聯合協議會

第一部五件本部一任

劈頭より果然論戰活潑

きのふ第二日

時局を全議案に盛り、興亞協議會とも稱すべき本年度全聯第二日目は定刻午前九時開始、一同先づ興亞日行事を行ひ、文案起草委員會經過報告、宣誓、議案整理委員會經過報告などあり、終つて午前十一時より第一部建國精神の顯揚に關する事項中、協和會活動力增强に關する件五件を一括上程し、議論沸騰、吾等が山下首都代表等熱辯を振ひ各代表は何れも晝食もせず眞劍に論議し、午後三時休憩ののち四時再開、國務總理施政方針大綱、總務長官の施政方針、民生部大臣の施政方針說明あり、初日既に二十一號議案、濱江、間島、錦州提案の「學校と協和會活動强化に關する件」は第三日に持ち越されることとなつた。尚、宗教に關する件の懇談會に入り結局九時過ぎ終了した、なほ第三日目には住宅、小麥粉問題等の重大……みられてゐる

協和會活動の徹底

各代表熱辯をふるふ

全聯第二日は意義ある第一回興亞日たる十月一日午前九時開會、國旗に向つて敬禮をなしたる後、興亞日行事として皇居遙拜、宮廷府遙拜、建國殉職者の英靈に一分間の默禱を捧げ次いで文案起草委員會に移り李、岩間正副委員長より別項宣誓文草案を朗讀、これを會議に諮れば一同拍手を以て賛成、丁議長並に奧村副議長より張會長に向つて嚴肅に宣誓を行ふ、次いで議案整理委員會經過報告に移り谷、朴正副委員長より報告を行ふ、次いで張會長より會運動方針大綱の說明、橋本中央本部長より會運動方針の說明、皆川總務部長より會務報告ありたる後、議長より多田北支方面軍司令官、野村外相等よりの祝電披露あり十一時十七分休憩、十一時廿七分再開、丁議長に變つて奧村副議長議長席に就き愈よ本格的議事の審議に入り議場は一段緊張の氣漲る、日程從につて第一部議案建國精神の顯揚に關する議案中

▽二號議案協和會活動力整備充實に關する件（熱河、濱江提出）▽三號議案分會强化に關する件（通化提出）▽四號議案分會職員身分に關する件（熱河提出　五號議案分會活動費調達に關する件（濱江提出）▽七號議案協和會運動の徹底に關する件　首都提出）

の五件を一括上程、提案理由說明し第一陣を承つて全聯代表中最少廿七才の蒙克金

金代表（熱河省）第一號議案協和會活動力整備充實に關する件について國家非常時局の現今全國民は物心全能力をあげ既に政府機關に於ては政治機構の整備强化經濟の調整及び統制をなしつゝあり、協和會には國民精神總動員への實踐組織體制を整備しつゝある處である、而して國家非常時の總動員は物心併行し均衡を保持して實施を必要とする、政府機構の精神母體にして表裏一體の關係にあり心的方面を擔當する協和會機構は非常時總動員による强力政治の實施及經濟統制による國民生活の困難及國民精神の動搖惡化を國家目的に順應する如く統一團結せしむるやう會機構をさらに整備强化し安全なる國家總動員體制を完成しなければならぬ、その辨法として

一、各級本部機構を整備充實し指導力、活動力を旺盛ならしむること
二、協和會法を制定し國法的基礎を確立すること
三、協和會に要する經費は補助金を以てせず國家豫算と同等に取扱ふこと
四、分會役員の訓練並びに身分保證をなし分會經費の充……

甘地代表（通化省）（三號議案分會强化に關する件）＝分會は會組織の單位、活動の單位である、貧困なる地方に在つてはその會費徵收も困難である、特定の分會に對しある期間定額補助金を交付する方法を設け分會活動を强化するの要ある、會勢の進展に伴つてその基本組織たる活動を自主能動的たらしむるには分會長は專任を要す、尚分會の現段階に於ては事實上專任書記を必要とする

張代表（熱河省）（四號……

金子代表（首都）（七號議案協和會運動の徹底に關する件）＝近時我國には新進の青年官吏、會社員が激增して來たが、協和會運動に理解乏しく建國精神を體得せざる者尠くない、最も熱烈なる協和精神の體得者であるべき官吏、會社員にして未だその趣旨の徹底を缺き協和會運動を本務と全然遊離せる別個の活動の如く誤解亦これ等上司に於ても邪魔物扱とする傾向があ……

金代表（牡丹江省）提案上程五件の議案は我々會員の希望するところ、これは即ち協和會の强化建國精神の發揚である

金代表（熱河）法律に拘束さるべきでないといふ御意見があるが、しかし國家に對してよいことを行ふ場合、國家が定めた法律に縛られるといふことはあり得ない……宗三江代表議事進行を提言

皆川總務部長登壇

一、協和會法の問題は昨日、名譽顧問訓示にも「不文の憲法たるべし」とあるが如く建國と共に國家機構として定められたものである、協和會はその法に規定されるとされざるに拘らず嚴乎として存在するものである、法の規定は第二の問題である、將來制定せらるべき憲法に協和會が規定されるや否やは極めて重要なる問題なので中央本部としても愼重に研究を進めてゐるが、前述の如く協和會が不文の憲法たることは炳乎として明かなのであるから進んで政府にこれを慫慂し促進する考へは持つてをらぬ

一、協和會豫算について本年度より「補助金」なる名目を改正し新たに政府の「補給金」なる名目で國家から支出されてゐる

一、會務機構の整備充實については從來會務機構と經費とは到底釣合ひとれぬ程少額であつた、故に來年度より三ヶ年計畫を以て經費と人員の增加を實行する豫定である……

一、分會役員たる役員の身分保障については所轄當局と折衝し至急これが具體的措置を講ずる

一、協和會運動の徹底に就て（1）新進の青年官吏、會社員諸氏の自覺による同志的活躍を原則とするが如き講習會、大同學院における官吏會社員の訓練等については極力これが徹底を圖る（2）官吏その他特殊會社員が協和會運動に不熱心であるといふことは眞に遺憾である……

全國聯合協議會第二日會場

張總理施政演說

本日茲に康德六年度協和會全國聯合協議會に臨み施政の方針に關し所懷の一端を述ぶる機會を得ましたことは余の最も欣快とする所であります、現下の國際狀勢を大觀致しまするに、東亞に於ては、日滿不可分の結合を樞軸として東亞新秩序建設の歷史的なる進展が行はれんとして居り

歐洲に

於ては、獨波間の戰爭勃發を端として、英佛兩國は既に對獨宣戰を斷行し、蘇聯赤兵を波國領內に進め、伊米兩國の態度微妙を極めて豫斷を許さず、世界的動亂の兆頭著なるものがあるのであります、此の混亂動搖の國際狀勢に處して、歐米諸列强の變轉常なき離合集散に煩はされず國際政局に於ける權謀術數の暗躍に捲き込まるることなく日滿不可分の一體の原則を堅持して日本と步調を一にし、歐洲戰爭には介入せず、一意東亞新秩序の建設に邁進することは實に我が國對外政策の根本方針とする所であります、依て政府は夙に中外に聲明を發して「我國は今次歐洲戰爭に關しては建國の大義に則り日本と同一の態度を持し、東亞新秩序建設の重要據點として、益々國力を充實し國防體制の强化に萬遺憾なからしむると共に、日本の支那事變處理に全力を擧げて協力せんことを期する」旨を宣明致しましたのであります、御承知の如く今や支那事變は盟邦日本の勝利の裡に、東亞新秩序建設の不動の目標に向つて顯著なる進展を示しつつあり、日本軍占領地域に於ける治安の回復、復興建設の諸工作着々其の緒に就くと共に、他方防共と日滿支提携とを標榜し、東亞新秩序の建設に協力せんとする新中央政權樹立の運動近時頓に進捗を示し、茲に明朗なる時局の收拾の機運急速に擡頭し興亞の大勢澎湃として勃興せんとするを見るのであります、又之に即應して九月一日蒙疆地方に於ては、從來の三地方政權を

統合し

一元的なる鞏固なる統一政權樹立せられ、蒙古聯合自治政府は茲に防共態勢の强化、民族協和厚生の促進に向つて更に一段と强力なる步を踏み出した次第であります、政府は此の大勢に對應し前述せる對外根本方針に基き、之等新興の友好政權に對しては、其の成立及健全なる發展を極力援助して、親日親滿、東亞新秩序建設に全生命とする新興支那の建設に……

……

根源を

培養するのと謂はねばなりません（中略）

以上我國現下內外の施政方針に付其の大綱を申述べましたが之等の方針も政府の活動のみを以てしては決して圓滑且十分に遂行せらるるものではありません、政府と表裏一體の密接不可分なる協和會の活動が强力に展開されてこそ始めて圓滑にして妙味あり而も强力にして徹底せる政治の具現を庶幾し得るのであります、各位は協和會の先達であり中堅であります、宣德達情の選士でありまするが故に、敍上政府の施政方針を克く民衆一般に普及理解せしむると共に、協和會活動をして之に即應し之を支援する如く指導せられ、以て政府協和會一體となり、我國政の改善伸張を圖り、東亞の興隆に寄與し、貢獻せられんことを切望して已まない次第であります

就任に際して

城島舟禮

今回不肖圖らずも先輩各位の御推輓に依り新京日日新聞社長の椅子を瀆すこととなりました。負はされたる責任の重且つ大なるを思ふ時省みて忸怩たる感なきを得ません。

御承知の如く、私は過去十一年間雜誌月刊滿洲社長として、これが編輯と經營に全身全力を捧げて參りました。もとより私には學も才も金もありません。たゞ持つものは、少しでも良い雜誌を作り度いといふ不斷の念願と私を後援して下さる多數の良き先輩友人各位であります。而してこれ等の後援者こそは實に私の有する最高の誇であり、また最大の强味であります。微力短才の私が、全く無經驗な新聞經營の難事業を敢て引受ける決心を致したのも、私の念願が專ら良き新聞を作るにある限り、後援者各位は必ずや從來より以上に、私を支援して下さることを信ずるからであります。

×

新京日日新聞はその長き歷史を通じて常に良き「街の新聞」でありました。私はこの傳統的方針をより一層强化し、漸を趁うて全紙面を市內記事のみを以て埋め、所謂ローカルペーパーとして最も忠實に市民各位に奉仕し度い念願を堅持するものであります。

今日私は何の準備もなく、卒然來つて新京日日新聞社長の椅子に着きました。しかし、愛社心に燃える社員諸君は、必ずや私の主義方針に共鳴し、新京日日新聞の使命達成に衷心より協力して下さることゝ信じます。

×

冀くは私の微衷を諒とせられ、市民各位の絕大なる御支援と御庇護を賜らむことを切望して已まない次第であります。

茲に就任に際し、謹んで御挨拶を申上げます。

武藤天津總領事

【天津卅日發國通】武藤新任天津總領事は卅日午後一時卅五分着列車で軍官民多數の出迎を受け着任、直ちに總領事館に入り田代前總領事との間に事務の引繼をなした、尚田代總領事は七日塘沽を出帆の長安丸で東京に向ふ筈である

人事往來

▲高柳保太郎氏（泰東日報社長）一日來京ヤマトホテル
▲井上匡四郎氏（東北帝大教授）同
▲寺山雄二氏（會社重役）同

偶語

日清、日露の兩役から滿洲、支那事變と續く半世紀の大陸發展に先烈の尊い碧血は一木一草▼隻土片石にもさてに我等が住む軒下や我等が踏む鋪道の下にさへ彩られてゐないと誰か否定し得やう▼然し大陸に住むものこゝに思ひを致して襟を正す者幾人かある▼淺酌低唱や徹宵打牌の徒輩が軒を掩ひ醉漢の泥靴化物の蠅が蠢いて大陸に……英魂安からんとして遂に安らかなり得ないだらう▼足下を見よそして地下の英靈に感謝せよとは無理か▼鐵道でも船會社でも悲鳴をあげるほどこの頃の大陸往來は激甚を極めてゐる▼大陸發展から云つて一面誠に結構な容相と申したいが好奇的な大陸熱などで煩はされることは時局柄辛い話である

本日朝刊四頁

協和會七年度運動方針大綱

日滿一體の國防鞏化
民生の安定に努力
張會長全會員に切望

康德六年度全國聯合協議會の席上に於きまして、代表各位に對し來年度會運動方針の大綱を開陳するの機會を得ましたことは、私の最も欣快とする所であります。現下內外の時局を概觀しまするに、歐洲に於てはナチス獨逸の勃興によりヴエルサイユ體制が崩潰すると共に所謂自由主義國家群との

對立抗爭 は逐年激化の一途を辿りつゝありましたが遂に本年九月初旬に至りダンチッヒ問題に端を發して破局を招來し、歐洲の天地は今や再び戰火動亂の巷と化し、歐洲の諸國と民心は未曾有の混亂、極度の不安動搖に曝されて居ります、戰局が如何に展開するかは勿論目下のところ豫斷を許しませんが、假りに今次の戰爭が歐洲のみに局限されて終熄するとしても國際間の危機がこれに依つて直ちに解消するものであるとは何人も斷言し得ないところであります、何んとならば、全世界は今や思想的にも政治的にも有史以來の一大變革期に直面するものでありまして國家間の抗爭對立を激化し、延いてはこれを戰爭に導くべき幾多の要素が地表の所々に存在するからであります、この間に處して、世界赤化を國是とする共産主義ソ聯邦の策動暗躍は暫くも停止ざせるのみならず國際的混亂と民心の動搖とに乘じ益々世界革命の野望を遂行せんものと、所謂赤色帝國主義の爪牙を磨きつゝ虎視眈々たるものがあります、殊に過般の獨ソ不可侵條約の締結更に今回のポーランド分割により、ソ聯邦の極東政策が如何なる推移を辿るべきかは我國にとつて最大の關心事であります、由來排共政策はわが國建國以來の國是として堅持するところでありまして蜿蜒數千キロの國境線に亘り思想的にも軍事的にも益々その護りを固うし、所謂來らざるを恃まず待つあるを恃むの

鐵壁陣を 形成すべきことは申すまでもありません、歐米依存の迷夢に騙られ、或は英國の經濟的支援に縋り或はコミンテルンの使嗾に踊つて抗日救國の僞瞞政策により支那四億の蒼生を塗炭の苦みに投じた蔣介石政權は、今や全く邊境に逼竄して僅かにその余喘を保つに過ぎず、他面和平救國の正論は澎湃として中國の南北を貫き、汪兆銘氏を首班とする新政權成立の胎動は日增しに活潑となり、聖戰茲に三ケ年東洋歷史の上に新紀元を劃すべき東亞新秩序建設の理想は正に具體化せんとしつゝあります、日本と一體不可分の關係に立つ我が國は支那事變の勃發以來、精神的には固より、經濟的にも日本の戰時體制と即應する諸政策を斷行しまして、日滿一體の眞價を發揮しつゝ全幅的に日本の國策に協力し來つたのであります、然し乍ら、東亞新秩序建設の前途には猶は幾多の困難障碍の横はることを知るべきでありまして、之れが爲には日支關係を根本的に調整し、日滿支三國の互助連環關係を樹立せんとするものでありますが、これを滿洲國の立場より申しますと、滿洲事變の根本的解決、即ち新たなる滿支關係の設定であり同時に我が建國精神の發展擴大であります、之即ち我が國が東亞新秩序建設の樞軸的據點であると言はれる所以であります、次に國內情勢を見ますると、日滿軍警の絶大なる努力により國內治安は殆んど全く確保され、各般の建設事業も着々進行しまして、建國八年の短日月としては驚嘆に値する躍進を遂げ、今や産業開發五ケ年計畫、開拓政策、北邊振興の三大國策の遂行に專念しつゝあります、これ等の諸政策は何れも

建國理想 を實現する爲の物心兩面に亘る基礎の確立を目的とするものであると共に、東亞新秩序の建設を促進し、國際情勢の要請する戰時體制の整備確立、換言すれば國防國家體制の完備を急ぎつゝあるのに外ならないのでありますが、我が國は頗る複雜なる民族的構成を有し、各民族は夫々民度、文化の程度を異にする關係上、これ等の重要國策の眞義が必ずしも國民一般の理解するところでないのは遺憾ながら事實であるとしなければなりません、殊に支那事變の進行に伴ひ、日本の戰時經濟體制に即應して經濟産業の統制を强化した結果、未だ國內に殘存する舊時代の經濟産業機構との間に多少の矛盾と摩擦とを來したのも亦事實であります、のみならず戰時體制の强化は必然的に生産並に配給の跛行性を誘致し從つて物資の不足、價格の騰貴は不可避的現象となり、これが爲國民生活が次第に困難を加へつゝあるのも否定し得ないことでありますが、これは決して我が國のみの傾向ではなく、從つて國家が目的を遂行する爲には民生の一部犧牲も亦已むを得ないことでありかゝる困難を克服しつゝ國力の綜合的充實を計ることが即ち建國精神の實(二)に外ならないのであります、然し乍ら民生疲弊して國力の充實なく民心沈潛せば國防の完備は不可能であります、國民生活を向上し王道樂土を建設することこそ建國精神の重要なる內容でありますが故に、戰時經濟と國民生活の調整は、現在我が國特に協和會の直面する最大課題の一つでなければなりません、以上に申述べましたところの內外情勢より結論しまして康德七年度會運動方針は次の二點にその重點を指向せんとするものであります、即ち對外的には日滿一體不可分關係の下に國防態勢を

益々鞏化 すると共に、新支那に於ける和平統一運動を支持して東亞新秩序の建設を推進することが其一であり對內的にはわが國が興亞運動の樞軸的據點たるの重要性に鑑み、建國精神を益々明徵顯揚すると共に、特に民生の安定向上に努力することがその二であります、この根本方針の更に具體的な內容に關しては、中央本部長より提示される筈でありますが、各位に於かれましては、複雜微妙なる國際情勢とわが滿洲帝國の地位に常に思を致され、國民の先達者たる協和會員として負荷する重要責務の達成に邁進されんことを切望致します

建國精神の顯揚
不斷に實踐せよ
橋本本部長の說明

康德七年度運動方針は本年度の運動の實績と複雜なる客觀的情勢を考慮し大要左の如く豫想し得るのであります、即ち現下內外の情勢は、一方に於て歐洲戰の開始であり、又一方に於てノモンハン事件の停戰協定がありましたが東亞の情勢は依然として緊迫しつゝあるに對應しまして康德七年度に於ても東亞新秩序建設を最高の目標とし外に對しては日滿一體不可分關係を益々緊密化すると共に支那に對しては漸く支那民衆の全體的輿論となつて來た支那和平統一運動を、積極的に支持し內に於てはわが國が興亞運動の樞軸的據點として益々重要性を帶び來つた點に鑑みいよいよ肇國の本義に立ち還り建國精神を基調としまして特に民生の安定向上に努力しつゝ國防國家體制の確立の一日も早く完成する目標を堅持するのであります、從つて上述の目標達成のため以下述ぶる各項の實踐に重點を置いて會運動を進める豫定であります

第一 建國精神の明徵顯揚であります＝我國の政治、經濟、文化の根本的基調が建國精神に存することは周知の事實でありますが、近時ややもすれば建國精神が徒らにお題目に止まり日常不斷に實踐せられざる如き傾向もあるのであります、しかし、申すまでもなく現今は戰時的非常時局であります、此の非常時局を乘り切ります爲には國民全體が建國精神に於て統一せられ益々之を明徵顯揚し、協和義奉公心に燃え其の總力を發揮して國家に御奉公する必要があるのであります、物の總動員工作もとより必要でありますが精神の總動員こそ其の根基をなすものでありまして、思想運動としての會運動もこの建國精神を日常の實際生活に滲透するを得て始めて成就し得るものと信じます

第二 に民族協和の徹底であります＝民族協和は申すまでもなく我國の建國精神の內容を爲すのでありますが、之は實現に實踐します爲には如何しても國內各民族間の相互理解を促進しますと共に民族的偏見並びに摩擦を除去する必要があるのであります、特に民族協和に於て必要なことは此の國の先達的地位にある者の自肅自戒であります就中日本民族の自戒は是非實踐されなければなりません、日本民族は自己の先達的地位を自覺し內に優秀なる素質、能力を藏しつゝもより謙讓の心を以て他民族と相交り之が指導誘掖につとむることが最も肝要であります、しかも今や日本開拓民は滔々として日本より移植しつゝあるのでありますが、此等開拓民が民族協和に寄與し滿洲建設に於ける實に絶大でありまして、さればこそこれ等開拓民の自覺並に安定と原住民の輔導は最も重要となつてをるのであります、從つてこれ等の開拓民が建國精神を體得し民族協和の眞意に徹することにより眞に民族協和の理想が達成し得られるのであります、なほ民族協和の徹底のため重視しておくことは少數民族の明朗豁達化でありまして來年度においてはこれ等を運動として展開する筈であります

第三 には國民防衛力の强化であります＝國防國家體制確立のためには思想的、經濟的に國の實力を培養することも固より必要でありますが云ふまでもなく國民全體が國家並にその郷土を防衛することであります、これがため會は協和義勇奉公隊、青年團を擴充强化してその防衛力を强化しますと共に國民各層の銃後活動を積極化する豫定であります、かゝる實踐活動を活潑になすためには結局會組織が整備充實されることが絶對に必要であります、建國精神に基く會組織さへしつかりと整備充實してをるならば如何なる重大任務も果し得るのであります

以上が來年度の會運動方針の大要でありますが、之れが爲には各級本部機構を三年整備計畫に基き整備充實しこれが指導力をなす豫定であります、もとより以上の實踐に付ては現地の事情に應じて夫々具體化せられなければならないのでありますが、かゝる運動が單に會務職員の運動として展開せらるゝが爲には中堅會員として代表各位の熱烈なる實踐に俟たなければならないのでありまして、代表各位は何卒建國同士たるの自覺に徹せられまして、會運動の進展につくされる樣希望する次第であります

創立一周年に際し
滿洲軍人後援會長　直木倫太郎

本會が昨康德五年十月一日新京市記念公會堂に於て發會式を擧げましてから滿一年經過し、本日其の

記念日 を迎へました、本會は創立以來前會長故古田正武閣下の御骨折に依り、本年二月末迄に規則の制定、事業の計畫、豫算の決定其の他諸般の準備を整ふる事を得、協和會の省本部內支部を、又協和會の縣、市、旗本部內に辦事處を設け、凡て協和會の機構に依存して業務を遂行するに至りました。然し其の當時は未だ資力に乏しく支部、辦事處の開設に著手が出來ず、只各省の協和會に本部より職員を派遣して機構結成促進方を依賴することに努力中、三月末遺憾にも前會長古田閣下には御都合に依り滿洲國參議を辭任せられまする爲に會長を辭任せられましたので、私が其の後任として御推薦を蒙り菲才を顧ず此の重責を負ふことになりました、越えて四月三日政府より五萬圓、次で五月二十三日同じく貳拾五萬圓の補助金を下附せられましたので、之に依り支部、辦事處の經費を配當することを得、漸く機構結成の實行に入りましたが事業の方は一日も等閑にすることは出來ませんから

創立の 際日本帝國軍人後援會より引繼を受けたる在滿日本軍人中戰死者の弔慰、並にその遺家族及在滿の傷痍軍人保護等は勿論新規の事業である我が國軍の軍人戰病死者に對する弔慰、その遺族、家族の保護及び警察官の職務者に對する弔慰及其の遺族の保護等も勿論創立以來新しく實施をして參りました、時に偶々五月末より今次のノモンハン事件の勃發となりまして、民間の軍人後援熱も其の方に傾注せらるゝ樣になりましたから本會の基礎建設方面のことは稍々一頓挫を免れませぬので、賛助員及寄附者等の應募は遲滯するの餘儀なきに至り、本年九月下旬に至る之等の收入は合計約十一萬圓に止まる次第なのであります、然しながらノモンハン事件の爲の事業費は經費の差繰に依り今日迄に角間に合はせて參り、尙協和會及國防婦人會等の資動的協力で相當事業を實施することを得ました、其の支出額は今日迄に十六萬餘圓に達して居ります、其の主要なるものは第一線部隊に對する慰問、第一線に近き病院に對する諸種の援助、戰歿者に對する弔慰、負傷者に對する慰問等であります、軍事上の關係で今日はこれ以上數字的に之を公表致し兼ねますが、兎に角之等事業の關係に依りまして日滿軍隊は勿論、地方民間の本會に對する

認識は 大に昂まりましたことと自覺致します、と共に、目下基本金は皇室より御下賜の御內帑金十萬圓、政府の補助金五萬圓、滿鐵の寄附金百五十萬圓及日本帝國軍人後援會より移讓金中の五萬圓を合せて百七十萬圓を有し更に前述の政府補助金、繰越金及雜入等合計約五十三萬圓の收入を以て今日迄及ばずながら只管使命に邁進し來たことを顧みまして日滿官民諸方面の御援助に對し深く感謝を申上げる次第であります、殊に去る六月末國務院の御配慮に依り官吏一般が率先賛助し本會に入會せらるることとなり、次で特殊會社及準特殊會社の社員一般も亦之に準じて賛助方を斡旋せられ、爾後漸次其の實現を見つゝありますことは洵に感謝に堪へざる處であります、以上は回顧一年の經過概要でありますが、此の

狀況に 鑑みまして以下將來に大に對する所感を述べ且つ更に大方の御協力を御依賴致したいと存じます

第一 今やノモンハン事件も日ソ停戰協定成立に歸しましたことは洵に御同慶に堪へない次第でありますが、此の平和の曙光を導かれましたる日滿將兵の義烈とその爲に生れた幾多痛ましき犧牲者の英靈とに對しましては只々感謝と痛惜の念を禁ずる能はざる處であります、而しされば國境の紛爭も茲に治まり、國民は益々安居樂業の氣分に向ふの餘り軍人後援の事業も亦茲に終りを告げた若は一休みになつたと考ることは大なる誤りでありまして、實はノモンハン事件に關する本會の任務言ふものは今日より以後に於てこそ益々重要であり、又益々其のなすべき事業が多くなり行くことを認められなければなりません、即ち今次事件に於ける英靈の弔慰、其の御遺族の永き將來に對する保護、傷痍の爲不具者となつて社會に出られぬ傷痍軍人並に其の御家族の保護等所謂戰鬪の後始末に對する大きな事業でありまして、私共の活動は實に之からなのであります、尙それに現役として在營中又は應召中の軍人の御家族の保護も益々徹底せしめなければなりません、これが本會事業の重點であります

第二 殊に前述の事業中には永續的に行ふべきものが多いのでありまして永續的の事業には永續的の財源が必要でありますが、未だ百七拾萬圓の基本金の利子を以てして、到底足りませんことは是非とも國民一致の熱烈なる後援により愈々以て一層軍人の志氣を振興せしめ、軍民渾然一體となつて國威を益々顯揚し將來外敵をして國境を窺ふの餘地なからしめ敢て戰はずして既に勝つの立場を持續して行かねばならぬと信じます

第三 今次事變の如き場合率先して第一線軍隊を慰問し且つ進んで最も適切なる慰問品の寄贈に他の團體と協力鑽心すべきは固よりながら、之を本會の使命とする本會の事業は飽く迄先に申述べたる戰死傷者の弔慰並に其の遺家族の保護を徹底せしむることにありまして、從つて餘り社會の表に華々しく宣傳さるべき筋合ではありませぬ、而も會勢を擴張しなければ、資力が集らず力が集まらねば後援の實力を發揮すべくもなく、蓋て國防上の一つ遺憾を致さねばなりませぬ

私共本會の理事者及職員一同は此の意義ある創立一周年記念日に方り深く前會長の建設せられたる基礎工作を回顧し次いでノモンハン事件に依りて重荷を課せられたる本會の使命に鑑み、今後一層努力奮勵して國民各位の御期待に副はんと期する次第であります、是非一層賛助を得て飽迄本會の基礎を固め、且つは其の活動に資せられたく切に希望する次第であります

忠節薫る護國の華
英靈四千廿柱に論功行賞發表

【東京國通】今次支那事變の聖戰に參加し輝かしき武勳を樹て遂に護國の神と化せる英靈四千二十柱に對し今般畏くも論功行賞が發表せられた、その範圍は昭和十三年七月二十日より同十四年四月二十九日に亘る間における戰死者(戰傷死)であつてこれを地域的に見れば北支、中支、南支滿洲國の殆んど各方面に及んでゐるが就中徐州會戰、武漢攻略戰その他の各地の肅清戰に於けるものが比較的多數を占めてゐる、しかして今なほ事變勃發當初のものが含まれてゐるが部隊よりの上申調査などの關係上已むを得ざる事情に依るものゝみでその數は極めて僅少である、右のうち武功特に卓越にして殊勳甲として優賞せられた者は合計百十六名である

上海、徐州、大別山麓に偉勳を奏す　功四、旭五　步兵大尉　矢木平治(宮城)

滿一ケ年各地に轉戰功を重ぬ　功四、旭五　步兵大尉　根本一郎(福島)

新站附近突山の嶮を奪ふ　功四、旭五　步兵大尉　弦卷辰三郎(新潟)

富金山を猛攻して散華す　功四、旭六　步兵中尉　小堺義定(新潟)

歷戰の武勳燦として大別山上に輝けり　功四、旭六　步兵大尉　伊藤良吉(岐阜)

楊樹嶺上偉勳永へに燦たり　功四、小綬　步兵少佐　內山覺次郎(鹿兒島)

上海戰に偉勳を樹て馬廻嶺野に散る　功四、旭六　步兵中尉　淸水謙一(石川)

肅縣城攻略に輝く偉勳　功四、旭五　步兵大尉　大石弘(石川)

武勳を重ねて瑞昌の野に散華　功四、旭五　步兵大尉　蔭谷雅章(富山)

同　功四、旭七　步兵軍曹　中西源良(石川)

上海戰に偉勳を樹て武漢攻略戰に散は華す　功六、旭七　步兵軍曹　中元隆(石川)

輝く先陣の勳　功五、旭七　步兵曹長　前出吉雄(石川)

突擊路を構成して偉勳を樹つ　功六、旭八　步兵伍長　多々見留吉(石川)

輕機關銃火を發揚して偉勳を樹つ

穴競馬
日曜レース賑ふ

新京國…

第六日成績

首都われらが二代表の活躍

全聯第二日目、興亞奉公日一日は早くも本格的議事の審議に入り各代表の熱烈なる意見の開陳は議場を緊張せしめ選良なる代表として幾多微笑ましい風景を繰り展げたが、我等の代表としてこの檜舞台に送つた首都全聯代表の活躍の跡を眺めやう、劈頭上程の建國精神の顯揚に關する議案中首都提出の〃協和會運動の徹底に關する件〃二のについて謹嚴な金子喜一氏は悠々とも靜かなる態度で提案理由の説明に當り明朗な鬪志と言はれる山下要八氏は文字通り鬪志の本領を發揮し「協和會法の制定」についての重要問題を携げ聲涙共に下る熱辯を以て各省代表の論旨に反對、それぞれ抱懷する所見を充分に披瀝滿場の視聽を集めた、兩氏の論述した要旨は左の如くである

官吏、會社員に協和精神不徹底
指導者に熱意なし　金子喜一氏痛論

我滿洲國政府は協和會員の熾烈なる建國精神即ち協和精神を母體として表裏一體その上に構成せられてゐるのであります、精神的母體とは何か、人である、協和會員である、政府の各機關に於ては官吏であり會社に於てはその社員である、而して直接重要なる政務に携はる官吏並に國策に順應して各種の事業を遂行する特種會社の社員の如きは協和精神建國精神の最高熱烈なる體得者として一般の範たり指導的立場に立たなければならぬ

□　□

然るに果してこれ等官吏會社員に協和精神の徹底遺憾なきや、最近增加しつゝある新任者に於ては協和會は恰も別箇の團體でもあるかの如く誤解して居るものが相當多いのでありまして從て熱意がない、建國精神の體得が充分でないものがあるのであります、これは勿論獨り新任者の罪のみではなからう、これを指導するやうに特別の方法が講ぜられて居るかどうか、また協和會の事業に對して上司たるものが充分の熱意を持ちこれ等會員を指導するやうに仕向けてゐるかどうか

□　□

各分會の役員のみが中間に在つて獨り苦衷をなめてゐると言ふが如き狀態にあるとしたならば到底明朗活潑は協和運動は望めないのでありそこに尚研究の餘地はないでせうか、一例を擧げるならば組織的に講習を實施して新任者或は幹部を指導する或は幹部は分科規程に一項を加へる文官考試又は勤務成績考察の一要件とし待遇上の資料として協和會に關する本項を加へる

□　□

また協和會精神を簡易に説明した「パンフレット」を全會員に配布する等の方法は幾等もありませう、協和會當局者並に政府はこの點を考慮せられましてとくに官公吏、會社員等の團體に對しては一般分會の模範たる如く一層効果的積極的に協和精神の普及徹底を容易ならしむる如く而も分會の幹部の動き易いやうに方法を講ぜられんことを切望する次第であります

協和會組織の法化贊同せず
山下代表熱涙の反駁

各地方の會に對して各位の不斷の活動については深く感銘するものであります、然し協和會組織を法化すること及び地方的諮問機關化することについては甚だ僭越乍ら御賛同申上げることを得ません、如何となれば協和會は國家建設國體にして一部在來通念の團體ではないのであります、協和會過去七ヶ年の實績は炳乎として光輝ある不文不磨の大憲章にして何んぞ法律化するの要ありませう、寧ろ法律化せざるところに法以上のものがあり、滿洲帝國の建國母體たるの所以のものでありませう、一般法律に規定する時は反つて權力化し民衆と對立化して國家目的の體現に反するの社會現象に至らんことを怖るゝものであります、先輩の七ヶ年の苦心を想ふ時我等中堅指導の責任にあるものは自ら苦心慘澹することこそ赤皇帝陛下の御聖德に副ひ奉るものであつて本代表はこれを法律化することには飽くまで反對するものであります

社頭賑ふ市民參拜
自肅と感謝の一色　國都初の〃奉公日〃

擧國興亞の力強き歩みを續ける滿洲國初の「興亞奉公日」は、盟邦日本の奉公日に呼應して協和會主唱の下に秋酣の一日全國民を總動員一齊に行はれた、この朝國都の空は澄みわたり、全くの興亞日和、先づ午前六時半東京中繼の君が代齊唱、宮城遙拜の號令についで小原內相の「茲に興亞奉公日を迎へて」とのラヂオ講演により奉公日の幕は新京東京同時に切つて落され、帝宮、忠靈塔、新京神社へは曉の霜を踏んで各官廳、會社、學校、協和義勇奉公隊、青少年團、國防婦人會等各種團體その他一般市民の遙拜者が引きも切らず一方家庭にあつては戰場の勞苦をしのんで子供達迄早起、沐浴、住居の清掃、祖先を祀る佛祭事を行ひ日滿一德一心の本義に則る國都初の奉公日は全國民の感謝と自肅奉公の一色でぬりつぶされた【寫眞は賑ふ新京神社】

傷病兵慰問賑ふ

興亞奉公日一日の新京陸軍病院はこの意義ある日を白衣の勇士慰問にと集る人々で賑つたが、午後一時からは滯京中の東寶長谷川一夫一行の來訪三時からは長春座で公演中の歌手瀾晴天、喜代丸、西村小樂天一行の來訪で演藝室は白衣の波で埋められて大好評であつた

新京＝京城三時間！
興亞大陸の空ゆく　晴れの處女就航
滿航機無事滿鮮連絡

滿鮮交通史の一頁を飾る新京—京城間定期航空は十月一日を期し滿航自慢のユンカース八六型十人乘りによつて開始された、この日新京飛行場では午前五時といふのに早くも都築管區長、岩村庶務係長ら出動大童となつて出發準備の指揮にあたる東の空が西色に染つて國都の姿が薄靄のベールの中からぬけ出て來ると晴れの出發を見送る人、處女航空の搭乘客が續々と自動車で乘りつけるとその間を數名のエアガールが胡蝶のやうに飛び廻つて愛嬌のよいサービスをふりまくなど空港らしい情景をかもし出す遠藤少將、中島少佐ら軍部關係者、阪本事務官ら滿洲國內海航空科長、を乘りつけ都築管區長らと「お日出度う」の挨拶が交はされる、今日の榮ある處女機のハンドルを握る間宮一等操縱士、石井一等機關士、山田通信士等により綿密なる機體の點檢が終ると愛機八六型は出發ラインに靜々と刻々入つてくる各地からの氣象通報はいづれもOK、格納庫內では出發を祝する冷酒にするめで宴が開かれ遠藤少將の「お目出度う」の言葉で一同乾盃して晴れの壯途を祝福する最初のエアガール中西千代子さんの案內で遠藤少將、中島少佐阪本事務官、都築管區長ら就航祝賀會出席者塵埃い多田、小石氏ら初旅客の搭乘が終ると午前七時爆音も高らかに砂塵を蹴つて滑走も輕々と離陸、旭光に鵬翼を輝かせつゝ國都上空を一週の上南方に飛び去つた、かくて處女機は全線好天にめぐまれ平均三百三十キロの高速をもつて午前十時二十八分京城飛行場に記念すべき車輪を印し午後十二時五十八分離陸復航の途につき午後四時四十三分新京飛行場に歸着こゝに滿鮮を三時間餘で結ぶ空のラインが完全に拓かれた、なほ當分の間滿航機は午前七時新京發日空機は從來通り午前八時發の二回に分れて就航本月十日頃より午前七時二機雁行して新京發に改正される豫定である【寫眞は處女機出發の刹那】

泥棒メモ〃行樂日〃
空つぽの屋根の下、空巣橫行

滿洲晴れに惠れた日曜の行樂に市民は來る酷寒に備へて先づ健康をと屋根の下を空に郊外へ、公園へ、街へと繰り出したのに眼をつけたのは空巣掏摸稼業であつた

▼一日午後一時頃吉林牛馬行街四〇號鄒上財(二三)さんは東五條通和索泰方より取引商品代現金千三百圓を受取り、又東二道街で商用を濟して東三路に赴くため一一號線バスに乘り、下車して滿員のバス內で千三百圓入財布を何者かに掏られてゐるのに氣づき青くなつて西道街署へ屆け出た

▼又同時前刻梅ケ枝町四ノ四吉川商店外交員金棒淦(二〇)君は兒玉公園陸上競技場で協和會分會對抗競技を見物中、右ポケットから財布(現金五圓余在中)を掏られて中央通署へ屆け出た

▼中央通署に各映畫館で映畫觀賞中に掏られましたと屆け出る者五件、留守中に家中を引つ掻き廻されて和洋服、金目の物を盜まれたと訴へ出る者八件あり、行樂日變つて手長コソ泥の書入れ日となつた

□□淨月潭行
好天に大賑ひ

市民保健と慰安に本社が贈つた快擧、石碑嶺淨月潭ハイキング、秋季淨月潭探勝會はハイキング俱樂部、觀光協會、交通會社後援のもとに汗ばむやうな好天氣にめぐまれ愉しく擧行された、午前九時先づ先達を承つたハイキング班が身仕度も輕やかに颯爽と驛前を出發す、それに續いて探勝會班二百名が多彩な賑やかさでバスを連ねて淨月潭に到り樂しい數々の催しに腹をかゝへて打ち興じ午後二時「快哉」を叫んで到着したハイキング班の一行を迎へ共にお土産の福引に愉快な一日を終り午後四時夕陽に映えた水鏡の紅葉に名殘りを惜しみつゝ歸宅した、本日幸運者

一等中田さん(軍犬協會)　二等前田さん(東邊道開發)　三等鍋田さん(曙町)　四等宗橋さん(東二條通り)　五等林さん(興安大路)以下略

廿日頃創立
專管公社の人選進む

特產專管公社の重役銓衡については目下政府において官民各方面より適任者を物色交涉中であるが、現在內定してゐるものは特產中央會專務理事松島鑑氏、三井物產大連支店次長山地基逸氏、三菱商事大連支店特產課長村岡智勝氏の三氏がそれぞれ理事として就任、理事長には元日滿商事理事長武部治右衛門氏に就任方交涉中である、なほ同社創立總會は十月廿日頃特產中央會において開催本社を中央會內に置き業務開始の豫定である

國防献金

三十日午後三笠町一丁目二六磯野榮吉さんは中央通署を訪れ故妻女の供養のためにと金十圓を國防献金した

天津行制限
九月限りで解除

天津では水害以來軍の許可證なき一般旅行者の天津入を制限して來たが最近排水の完了と共に軍では今月末(九月卅日)を以つて右の制限を打切ることゝなつた旨卅日駐滿日本大使館より外務局に通牒があつた、なほ今後の天津向旅行者は夫々左記證明書の携行が必要である

一、新規渡來者は凡て渡支證明書を必要とする
二、水害前天津領事館發給の身分證明書、居住證明書に依り離津中の者は右證明書で歸津出來る(歸津豫定期日が水害中に當る時は延期手續は不要)
三、水害後天津領事館發給の避難證明に依り引揚中の者は新たに天津領事館警察署發給の身分證明書を必要とす
四、防衛司令部發給の旅行證明書に依り引揚中の者十月十五日迄右證明書で歸津出來るが、十月十六日以降は天津領事館發給の身分證明書を必要とす
五、何等證明書なく引揚げた者は天津領事館發給の身分證明書を必要とす
六、天津旅行者は凡てコレラ豫防注射證明書を必要とす

滿赤創立一周年記念

滿洲赤十字社創立一周年式典は十月一日午前十時より新京同本社講堂に於て關係者三百餘名參列の下に盛大に擧行された【寫眞は一周年記念式典勅書奉讀】

藝妓ドロン

二十九日午後六時頃ダイヤ街料亭桐壼抱藝妓靜岡縣生れ、桐若こと早田ツユ(二三)は散歩に行くと稱して外出したまゝ歸宅せず店主より中央通署に搜査方願ひ出た、桐若は高女出のインテリ藝者だが、かねて治療してゐたモヒの味が忘られず市內に潛伏甘味な夢をむさぼつてゐるものと睨み嚴探中

竊盜苦力捕る

二十八日午後四平街驛構內停車中の貨車から積載の綿布二十數疋を竊取せんとする苦力を警護隊同驛分所員が發見取押へて三十日新京隊に押送して來た、右は河北生れ、四平街南三馬路國際苦力趙樹蘭(三〇)で、十七、八日に亘つて綿布、麻袋、その他約八百圓を竊取、染馴妓女に注ぎ込んでゐたことを自白したが、余罪多數ある見込

經王寺開堂式

曙町日蓮宗經王寺の開堂式は一日午前十時より新築の本堂庫裡において教學部長馬田僧正ほか全滿布教師、信徒多數臨席して盛大に執行され、午後六時第一日を終了した、なほ二日は午後一時より馬田僧正の親教、同三時より日滿兩軍戰歿勇士ならびに同山檀信徒先祖の大施餓鬼法要が營まれる

電業城內營業所

四月初旬來西四道街角にて改築中の電業城內營業所は改裝なり一日より、滿人街にデビユー滿人側電氣供給に當ることになつた

臺北州教員視察團

臺北州教員滿鮮視察團は一日午後一時卅分あじあで哈爾濱の視察を終へて來京した

一日の全聯で協和會活動力整備充實に關する件外數件一括上程の協和會自體の法律制定問題は俄然各代表の熱烈なる論戰を展開し、いつ果つるともなく反覆論議された正午休憩の一時が廻り二時が過ぎても、更にけりがつきさうもない▼中食もせずペコペコの空腹をかゝへて代表連は頑張つてゐた、遂に三時に十分前たまりかねた龍江省代表の田村君が眞劍な顏をして立ち上つた▼「熱心なる議論はよろしい、だが諸君今既に午後三時十分前だ皆同じ樣に空腹な筈である、この邊で飯をやらうではないか、わしは中食動議をやる」▼とやり滿場これに思はず爆笑皆同じ氣の代表連これは正に滿場一致だ、奧村議長すかさず本部一任を提議、さしもの大問題も美事に樂議統裁となる滿場一致から、樂議統裁への最初の採決がこれであつた空腹は樂議であり、中食の統裁となつたのも何か因緣めいてゐる【寫眞は田村代表】

けふの天氣　南の風晴後曇
きのふの氣溫　最高一七度六　最低四度三

女人果

小栗虫太郎 作　中島喜美 畫

（百六十四）

弓子の船室（4）

弓子の船室――。
大兒は、こりやいかんと思つた。
もしも、デイタがノツクをして開かれてみろ、いままでの法螺が、飛んだ藪蛇にならんとも限らぬ。
（ふうむ、寸善尺魔とは、こんな事を云ふのか。）
さしもの、大兒も冷汗を感じ、すべてがこれで終るのかとも考へられた。
お喋りと、よくふくろに云はれたが、此處で來た。
（くそつ、この女）
彼は、身がすくむやうな思ひだつたのである。
が、その瞬間――。
なかの灯りが、パツと消えてしまつた。
そしてそれと共に、本を伏せるやうな音が幽かにした。
弓子が、眠るために卓上灯

を消したらしい。
『あつ、消えましたわ。』
といつて、デイタはちよつと大兒を見てゐたが、
『止めませうね。せつかく、お寢みになるところを、お起ししちや惡いですから。おやさつきの番號ですから、お出かけ下さいまし』
『明日』
大兒は、吃るやうに云つた
『午後、お茶を如何ですか？』
『ハア、では、お起きになつたら、お電話下さいまし。』
大兒は、それでやつと救はれた思ひになつた。
（やれ／＼、助かつたぞ。）
此處で、下手をすりや逆鱗くらゐぢや收まらない。とにかく、これからは決して法螺をつくまい。
そこへ横合から、さつきの水夫三人が現はれた。
『どうも、へ、へ、へ、大兒さんの粘ばりには驚きしたよ。』
『ぢや、蹤いてきたのか』
どうやら、大兒對この三人は他人ではないらしい。
『へ、へ、へ、すつかりつて譯です。ですが、わつち共も相當傷みましてね。ねえ、御覽なすつて。』
と、なかでの年長らしいのが、卑屈さうな笑をうかべて痛さうに身を撚らせる。
『このとほり、わつちは肩と腰に打身が二個所。』
『わつちのはうは、拇指一つだが、利き指ですからね。』
『ねえ大兒さん、あつしはロープで眼を痛いつてほど擦りましたよ。これで、デイーゼルをいぢるんだから、察してもらいたいもんで…』
三人が、各人各樣に、痛手の模樣を訴へる。
それも、どうやら誇張があり、大兒は苦々しさうな顔をしてゐる。
『ですから、約束より三割方はずんで貰へてえ。あんたの頼みで、鹹をかけてまでやつた仕事だしね』
大兒は、澁い顔をしたが止むを得ないといふやうに、金を拂ひ、行け行けといふやうな手付きをした。
してみると先刻のは、じつに古風な、一場の馴れ合ひ芝居だつたのである。
惡者を、けしかけて娘をさらわせる、そこへ、躍りだしてポボンと投げ、脂下るといふあの手のことである。
けれども、さうしてデイタニ近付き親しまれたとはいへ、それは、結果に於いていかに得るところがあつたか。
大兒は、なほ甘酸つぱい顔で、爽々としない。

ラヂオ

けふの番組

〔MTOY 新京放送局〕二日（月曜日）

朝

七、〇〇（新京）建國體操
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、二〇（新京）ニュース
七、三〇（大連）初等滿洲語講座　秩父固太郎
七、五五（大連）朝の音樂（レコード）管絃樂
一、圓舞曲「東洋物語」ヨハン・シユトラウス作曲
二、クリスマス愛曲集　ベネデイクト作曲
三、圓舞曲コルヌヴイルの鐘　プランケット作曲
八、二〇（新京）氣象通報
八、五〇（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
一〇、〇〇（大、新）經濟市況
一〇、〇五（奉天）幼兒の時間　音樂あそび（一）　歌川彩子
一〇、二〇（奉天）家庭の時間　十月の衛生　醫學博士　永積三司
一〇、四五（奉天）家庭メモ
一〇、五〇（奉天）料理獻立
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（新京）晝の演藝　新日本音樂
一、花園　琴高音　三谷操錦　同　藤記愛子　琴低音　松田錦鶯
二、三つの景色　琴　三谷操錦　同　松田錦鶯　尺八　井上起重
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇〇（大、新）經濟市況
二、一〇（大、新）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
三、三〇（新京）學校放送
一、國民歌
二、講演　學校放送の開始に當りて　日本帝國大使館教務部長　今吉敏雄　滿洲電信電話株式會社放送部長　前田直造
三、教育だより
四、〇〇（東、新）ニュース
四、四〇（新京）氣象通報
四、四〇（大、新）經濟市況
五、二〇（新京）ニュース
「鮮語」（新京）演藝「鮮語」

夜

六、〇〇（新京）子供の時間　物語劇　黎明の日本　中央コドモ劇場　作並演出　伊藤樹夫
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（牡丹江）座談會　東滿の職場を語る　司會者　大西弘　松田熊太郎　清水利八　木下信男　趙良濟
七、〇〇（東、新）ニュース
（新京）職業紹介、告知事項、今晩の番組
七、三〇（奉天）講演　アジア大陸南北文化の緩衝地帶としての滿洲（四）　白柳秀湖
八、〇〇（東京）映畫劇　現代作品集
一、土　長塚節作　小杉勇　風見章子
二、西住戰車隊長傳　菊池寛作
三、土地の問題　尾崎政房作　上原謙　橘喜久子　藤間林太郎
四、光と影　阿部知二作　大日方傳　堤眞佐子
五、母　鶴見祐輔作　新田實　山路ふみ子
伴奏　東京放送管絃樂團　音樂指揮　池讓　演出　園口次郎
八、三〇（東京）ラヂオ時局讀本
八、四〇（東京）落語　長屋チーム　三遊亭金馬
九、〇〇（長崎）府縣めぐり（十二）長崎縣の巻　朗讀と錄音
一、父へ　縣政大要
二、母へ　情緒長崎
三、弟へ　軍港佐世保
四、妹へ　觀光雲仙
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解説
（新京）ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

月曜　壬申　先負　閉　畢宿

● 一白の人　健全の歩調を採れば運氣至つて吉なるべし　巽と壬と乙が吉
● 二黑の人　他に心を散さず地味に働けば大吉日となる　丙と乾と辛が吉
● 三碧の人　志を堅くし精根の限り働けば失ふことなし　艮と乙と丙が吉
● 四綠の人　忍ぶべきを忍ばざれば生涯の計を誤るべし　北と壬と乙が吉
● 五黃の人　小事に拘泥せられて大事に手落を生じ易し　丙と辛と乙が吉
● 六白の人　事は少々長引くと雖も願望は成就すべき日　南と艮と辛が吉
● 七赤の人　人言を輕んじ長上を蔑する時は破滅を來す　南と乾と艮が吉
● 八白の人　窮屈を忍べば後は悠々たる地位に昇るべし　丙と南と辛が吉
● 九紫の人　目上目下の苦勞より共仆れとなることあり　北と坤と乾が吉

東京・本郷・神誠館